

日本近代音楽の基礎を作った 「音楽家」下總皖一の業績

(1898～1962)

作曲家としての下總皖一

「たなばたさま」「花火」「野菊」「ほたる」などの曲は、下總皖一の曲として有名ですが、氏の作曲分野は極めて幅広く、合唱曲・器楽曲・協奏曲や校歌など、多岐にわたっています。

また、箏の曲、三味線の曲など日本の伝統音楽についても作曲し、その数2,000曲とも3,000曲とも言われています。



〈晩年の愛用ピアノ〉

音楽理論家としての下總皖一

昭和9年、ドイツ留学から帰って、翌10年に著した理論書「和声学」は、ドイツでの恩師パウル・ヒンデミットから称賛されました。

その後次々と理論書を著し、「作曲法」「日本音階の話」「作曲法入門」「楽典」「音楽理論」「対位法」など日本の近代音楽の基礎を作ったとされています。

「和声楽」の神様とも言われています。

音楽教育家としての下總皖一

東京音楽学校を首席で卒業した下總皖一は、各地の学校で教鞭をとりました(女子師範学校・各地の師範学校・小学校・女子高等師範学校など)。

また、留学から帰国後は母校の東京藝術大学(当時、東京音楽学校)で教鞭をとり、昭和31年に音楽学部長に就任。数多くの素晴らしい音楽家を育てました。



資料提供：加須市



令和2年度

しも おさ かん いち

下總皖一 音楽賞募集

「作曲家」「音楽理論家」「音楽教育家」として

日本近代音楽の基礎を作ったといわれる

埼玉県加須市出身の偉人、下總皖一。

その精神を受け継ぐ、県にゆかりのあるプロの音楽家の方を表彰します。

素晴らしい音楽家の推薦をお待ちしています。

募集
期間

令和2年

6月22日(月)

～9月18日(金)

お問合せ

埼玉県県民生活部文化振興課

【下總皖一音楽賞担当】

TEL：048-830-2887

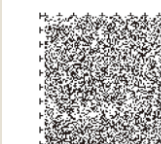
FAX：048-830-4752

下總皖一音楽賞

検索



活字文書読上げ装置で
情報を音声で
聞くことができます。



Uni-Voice



埼玉県マスコット
「さいたまっち&コバトン」

令和2年度 下總皖一音楽賞募集要項

候補者

音楽文化の向上に貢献している埼玉県ゆかりのプロの音楽家

- **作曲家**
クラシック中心に出版・演奏された複数の優れた曲がある方
- **音楽理論家・音楽評論家**
音及び音楽に関する諸現象について優れた研究・発表を行っている方
- **音楽教育家**
音楽大学等で音楽教育に携り、指導法や後進の育成に秀でている方
- **演奏家**
優れた演奏活動（邦楽を含む。）を行っている方
- **上記以外の分野で、優れた活動を行っている方**

本県ゆかり（出身、在住（歴）、在学（歴）、在勤（歴））の方を御推薦ください。

部門

- **音楽文化発信部門**
国内外で幅広く活躍され、今後、更なる活躍が期待できる方
- **音楽文化貢献部門**
長年にわたり、本県の音楽文化の向上に貢献されている方

推薦方法

個人又は団体からの推薦（自薦はできません。）

「令和2年度下總皖一音楽賞推薦書」及び「同候補者調書」に御記入の上、「応募先」まで御応募ください。
様式は、埼玉県のホームページからダウンロードすることができます。

下總皖一音楽賞 検索

なお、推薦に当たっては、必ずしも候補者の了解を得る必要はありません。

【推薦できる個人】 音楽有識者

【推薦できる団体】 国・地方公共団体、大学、埼玉県内の高等学校、音楽イベントを行う団体など

応募締切

令和2年9月18日（金）（郵送は消印有効）

選考

選考委員会の審査を経て、埼玉県知事が決定します。

表彰

令和3年1月又は2月に表彰式を行う予定です。
受賞者には、賞状と記念品を贈呈します。

応募先

埼玉県県民生活部文化振興課【下總皖一音楽賞担当】

所在地：〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話：048-830-2887

E-mail：a2875-04@pref.saitama.lg.jp

郵送、E-mail 又は
直接御持参ください

令和元年度「下總皖一音楽賞」受賞者

《音楽文化発信部門》

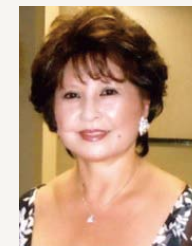


森谷 真理

Moriya Mari

声楽家
淑徳与野高等学校及び
武蔵野音楽大学出身

《音楽文化貢献部門》



松本 美和子

Matsumoto Miwako

声楽家
武蔵野音楽大学特任教授

国内外で幅広く活躍するソプラノ歌手。

武蔵野音楽大学大学院修了後、マネス音楽院（ニューヨーク）修了。メトロポリタン歌劇場『魔笛』夜の女王役でデビュー、その後リンツ州立劇場専属歌手として、また、ウィーン・フォルクスオーパーをはじめ欧米の主要歌劇場に出演。

国内では東京二期会、日生劇場、びわ湖ホール等で『ばらの騎士』元帥夫人、『蝶々夫人』題名役、『ワルキューレ』ジークリンデ、『魔笛』パミーナ、『サロメ』題名役として高く評価される。2019年秋、「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」国歌独唱の大役をつとめる。二期会会員。

日本を代表するソプラノ歌手で音楽教育家。

1972年、ローマ国立歌劇場でオペラ「カルメン」のミカエラでデビュー。1967年、ジュネーヴ国際音楽コンクール第2位（1位なし）ほか受賞多数。長年、オペラ歌手、声楽家として国内外で活躍。これまでに多数のCDをリリース。

武蔵野音楽大学（入間校舎）では音楽教育に力を注ぎ、チャイコフスキー国際コンクールで日本人として初めて優勝した佐藤美枝子氏（平成26年度下總皖一音楽賞音楽文化発信部門受賞者）をはじめ、優秀な声楽家を多数輩出するなど本県音楽文化の向上に貢献。2006年、紫綬褒章を授与。2012年、旭日小綬章を叙勲。

「下總皖一音楽賞」について

下總皖一の名を冠した音楽賞は、生誕90年を記念して昭和62年に埼玉会館友の会が制定したのが始まりです。

埼玉会館友の会は埼玉県の文化を掘り起こすことを目的に設立された団体ですが、偉大な功績を残した下總皖一に着目し、賞を創設しました。

賞は平成7年に県に移管され、平成10年からは童謡に特化した下總皖一童謡音楽賞として、多くの音楽家や音楽団体などを表彰してきました。

平成24年、下總皖一の没後50年を記念し、音楽文化の向上に貢献しているプロの音楽家を表彰する制度にリニューアルしました。